

月 日	天 気 最低気温	報 告 事 項	報 告 事 項 詳 細

記号	項 目		有	無	備 考	
ロ	土質調査表	裏込め土	粒度試験			
			三軸圧縮試験			
			一面せん断試験			
			その他			
	擁壁底盤	粒度試験				
		三軸圧縮試験				
		一面せん断試験				
		その他				
	地耐力	平板載荷試験	擁壁底盤位置			
			地盤改良			
その他						
ハ	各種くい体試験報告書					
	くいの鉛直載荷試験報告書					
	くい施工報告書					
ニ	コンクリートの配合報告書					
ホ	塩分試験報告書					
	微粒分量試験報告書					
	粘土塊量試験報告書					
	アルカリ、シリカ反応性試験報告書					
ヘ	コンクリートスランプ、空気量試験報告書					
	フレッシュコンクリート塩化物量試験報告書					
ト	コンクリート一週圧縮試験報告書					
	コンクリート四週圧縮試験報告書					
リ	鉄筋強度試験報告書					
ヌ	工事写真					
ル	練積み造擁壁に用いるコンクリートブロック等の納品書					
ヲ	その他					

様式2の記載例

月 日	天 気 最低気温	報 告 事 項	報 告 事 項 詳 細
3.30	雨	設計図書の照合	許可書と設計図書を照合し、間違いがないことを確認した。
4.1	晴	くい地業	設計図書のくい長より 2m 長い試験ぐい 10 セット (PCA 種、φ350、L=22m (11m+11m)) を搬入。試験打ちを行う。継手溶接部分状態良好。(溶接技能者は別添のと通りの資格者であることを確認する。)
4.2	曇	〃	打設結果は各セットとも設計図書以上の支持力がえられた。また支持層もボーリングデータどおりの深度であることを確認した。
4.5	晴	〃	50 セット打設完了。51 セット目にくいの異常を発見。座屈と判明し、処置として増打ちを行う。くい芯のずれによる補強を別添図面のように指示する。
4.22	晴	〃	200 セット打設完了。くい支持力は別添の報告書のとおりである。くい頭処理もひびわれが発生せず良好。捨コンに墨出しを行った結果、くい芯ずれによる補強を要するものが 10 カ所あり、別添図面のとおり補強するよう指示する。
5.7	晴	擁壁底盤 擁壁縦壁	SD295 を使用していることを確認。くい芯ずれにより補強を必要とする箇所を念のため指示する。ベース筋に付着している泥の除去を指示する。 各部において、所定の径・本数・位置・定着等を確認。
5.10	雨	〃	また、くい芯ずれによる補強についても図面のとおり施工されていることを確認した。 補強部の型枠の位置・寸法等および所定のかぶり厚さがとれていることを確認した。

5.17	晴	高槻市配筋検査	〇〇氏に検査を受ける。くい芯ずれの報告を行い、その補強方法を計算書および図面で説明し、了解を得る。
5.21	晴	コンクリート打ち込み	<p>指定強度 21N/m²・スランプ 15cm の別添資料どおりのコンクリートを 86 m³打ち込んだ。スランプ・空気量は写真のとおり、</p> <p>1 回目 スランプ 15.2cm ・空気量 3.9%</p> <p>2 回目 スランプ 15.7cm ・空気量 3.8%</p> <p>3 回目 スランプ 15.5cm ・空気量 3.6%</p> <p>であった。</p> <p>テストピースは材齢 7 日・28 日の圧縮試験用に 9 本採取した。</p>